

1. 香港 2. シャンハイ 3. シンガポール 4. マカオ

1. 公用語であるスペイン語の普及を背景に、都市部での高度な通信ネットワークの整備が日本企業によって独占的に行われている。	2. サハラ砂漠の拡大による砂害を防ぐため、広大な緑化ベルトの形成と銅鉱石の輸出管理の徹底が日本の主導で行われている。	3. 労働力不足を解消するためにスラムを解体し、農村部への強制的な人口移転と大規模な灌漑施設の建設が日本の支援で行われている。	4. 急激な人口流入によりスラムが形成され、生活排水による水質汚濁が問題となっており、日本の技術協力を得て下水処理施設の整備が進められている。
---	---	---	---

1. 高度な情報通信網を背景にインターネット利用率が非常に高く、中国を最大の貿易相手国として、機械類や自動車などを主に輸出している。
2. 熱帯の気候を利用した天然ゴムやパーム油の生産が盛んであり、インターネットの普及は都市部に限定されている。
3. 豊富な鉱物資源と安価な労働力を背景に、衣類などの繊維製品が輸出の大部分を占めており、最大の貿易相手国はアメリカ合衆国である。
4. 広大な国土を活かした大規模な農業が盛んであり、輸出総額に占める小麦や羊毛の割合が非常に高い。

1. 安価で単純な労働力を提供するため、初等教育のみに注力した。

2. 高度な理数教育が行われており、数多くの優秀な技術者が育成された。

3. 伝統的な工芸技術を継承するため、徒弟制度による手工業教育を重視した。

4. 農村部における農業技術の向上を目指し、一次産業の教育に特化した。

1. ブドウ 2. てんさい 3. オリーブ 4. 天然ゴム

1. アンデス山脈 2. ロッキー山脈 3. アルプス山脈 4. ヒマラヤ山脈

1. 中国は改革開放によって経済成長を遂げたが、インドは高い人口増加率を維持し2023年頃に人口世界第1位となった。
2. 中国は国内総生産の大部分を農業が占めているが、インドはIT産業の発展により人口世界第1位を達成した。
3. インドは急速な少子高齢化によって人口が減少しているが、中国は高い人口増加率を背景に経済成長を続けている。
4. インドは1980年代から一人っ子政策を導入して人口を抑制し、現在は中国が人口世界第1位を維持している。

1. ベトナム 2. サウジアラビア 3. タイ 4. インドネシア

1. 大豆 2. とうもろこし 3. 米 4. 小麦

1. 海に面していない内陸国であり、乾燥した草原地帯で家畜とともに移動する遊牧が行われてきたこと。

2. 四方を海に囲まれた島国であるが、宗教的な理由によって水産物の摂取が禁じられていること。

3. 広大な森林地帯を活用した林業が盛んであり、野生の動物や果実を主食とする生活が続いていること。

4. 降水量の多い温暖な気候を利用して、大規模な稲作と豚の飼育を組み合わせた農業が行われていること。

1. 台風 2. ハリケーン 3. サイクロン 4. ブリザード

1. 石油輸出国機構 2. 東南アジア諸国連合 3. アジア太平洋経済協力会議 4. ヨーロッパ連合

1. サウジアラビア 2. トルコ 3. アラブ首長国連邦 4. イラン

1. 韓国 2. タイ 3. ベトナム 4. インドネシア